

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



謹賀新年



新年を迎えて

しずない農業協同組合代表理事組合長 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族とともにご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年の日高地方は、春の低温と雨不足、夏は高温と数十年ぶりの台風の上陸が重なり、近年にはみられなかった地球温暖化による災害があった一年でした。

しかし、北海道各地の被害状況と比較しますと、不幸中にも最小限で済んだのではないのでしょうか。

このような気象状況の中でも当JAでは、組合員皆様の努力で、農作物はほぼ平年作まで回復し、

畜産物についても軽種馬の市場取引を含めまして近年になかった伸びを示し、各作物ともに良い出来秋を迎えることができたものと考えております。

国内のJAと農業を取り巻く環境に目を向けますと更にその厳しさは増し、特に農協改革に強い意欲を示す規制改革推進会議（ワーキンググループ）は横暴とも言える改革を要求してきており、TPPについては、アメリカ大統領選挙の結果、今後の動向が不透明な状況となってきました。

今後もJAとしての組織の在り方が問われ続けていくことと思いますが、私たち自身もJAの理念を再確認し、農業者の相互扶助の組織としての在り方を組合員の皆様と考え、運営して参る所存であります。

また、3JAの合併につきましては、財務環境改善を中心に協議を進めておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

次に各作目別について申し述べ

ます。

水稲は、全道の作況指数103に対して、日高は101となりましたが、当地区では、昨年も整粒率の高い良い作柄となり、加えて、ブライベートブランドの特別栽培米「万馬券」の食味が各方面で高く評価されたことを受け、高値で取引されています。

青果では、ブランド名が定着したミニトマト「太陽の瞳」については、春先の低温と夏場の高温による花とびの影響から出荷量が前年対比で91%と伸び悩み、その影響から取扱金額は8億6600万円、青果全体でも9億8600万円という結果になりました。

しかし、本年4月には3組の新規就農者の参入により、受入戸数も10組となり、また、目名地区のハウス団地では、4組の方が就農を目指し、研修に取り組んでいきます。担い手も着実に増えており、ミニトマト部会の掲げる「売上額全道一！」という目標に向け、大きな原動力となっていくことと期待しています。

今年も新ひだか町農業担い手育成支援協議会と連携し、新規就農者及び研修生の支援を続け、地域

の経営基盤の強化に努めて参ります。

酪農については、乳価(kg単価)が前年からの据え置きであったものの、計画を上回る取り扱いで推移しております。

黒毛和牛については、これまでの研鑽による素牛づくりが市場関係者から高い評価を獲得しており、加えて、市場の素牛の不足感から平均購買価格は前年と比較して約17万円の増加となり、去勢で90万7000円、めすで76万5000円という高値となりました。

全体の取り扱いについても過去最高となる6億円を突破し、7億円も目前という結果となりました。

最後に基幹産業である軽種馬については、国内経済が少しづつではありますが、着実に回復している兆しが見え始めていることから、昨年の市場販売頭数及び販売額は、337頭、30億円と2年連続で30億円突破となりました。

平均販売価格も前年対比で64万8000円増加となる892万5000円となり、国内景気の回

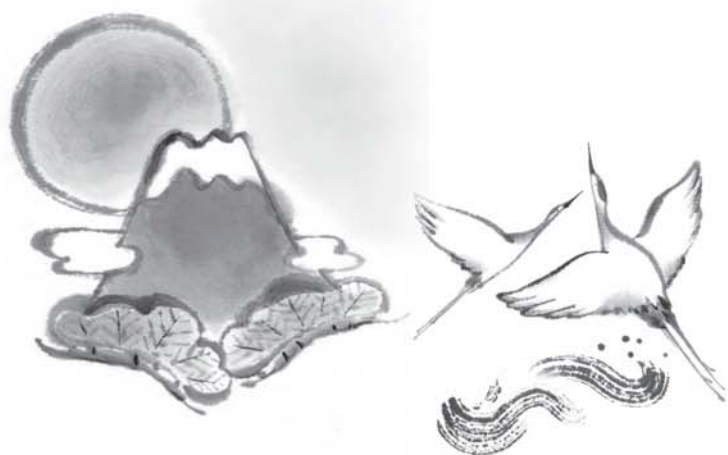
復及び上昇が感じられる結果となりました。

また、昨年は4月17日に中山競馬場で開催された「皐月賞」を(有)服部牧場生産のディーマジエステイ号が、師走の12月4日に中京競馬場で開催された「チャンピオンズC」を岡田スタッド生産のサウンドトゥルー号が優勝し、静内産馬の存在感を示す活躍がありました。改めて生産牧場の皆様にお祝いを申し上げます。

加えて、今年度は平成25年度から実施されております「競走馬生産振興事業」の最終年度となっております。

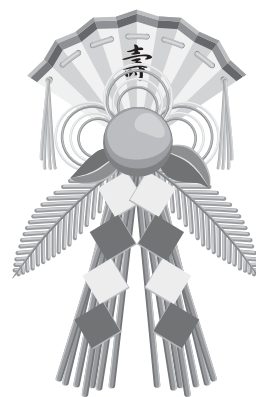
当JAと致しましては、今後の事業継続、組合員の皆様が「強い馬づくり」に取り組んでいける事業の提案及び要望を各関係機関に向けて続けていきたいと考えております。

ホツカイドウ競馬の開催結果につきましても、インターネットでの馬券発売が引き続き好調だったことから、計画対比で17.62%、前年対比で20.44%上回る203億円の発売額となり、1998年以来18年ぶりの200億円突破となりました。



開催期間中は、Aiba祭や協賛レースに合わせて実施致しました応援バスツアーへの参加など各振興会会員をはじめ、関係者と地域の皆様が一丸となってご支援を頂いた賜物と深く感謝し、お礼を申し上げます。
本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長	西村 和夫	代表監事	渡辺 隆
副組合長	小倉 正信	監事	野田 勝之
常務理事	千葉 利一	管理部長	山岸 剛
理事	伊藤 佳幸	経営融資部長	兼田 由和
	片岡 佳幸	営農部長	櫻田 文明
	谷岡 康成	経済部長	大滝 康正
	泊岡 寿幸	外職員一同	
	中道 雅則		
	山口 修二		
信用担当理事 兼金融部長	荒谷 昭二		



平成29年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深

く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところと

今後ともJAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポート致します。

また、全農改革をはじめとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメ

インテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところです。

昨年は、JAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割

を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、改めて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下の様々な課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。

更に農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組を積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤を更に発展させ、後世に継承できるよう努力して参ります。

結びになります。今年の手支は丁酉（ひのととり）です。

一説には、丁は「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことであります。

今年はこの酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶と致します。



新年にあたって

日高農業改良普及センター所長

福谷 洋一



新年あけましておめでとうございます。
います。

生産者の皆様には、日頃より普及活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、春・夏・秋に周期的な低温に見舞われ、被害には至らなかったものの6月中旬と7月下旬には大雨に見舞われました。

また、8月下旬には、観測史上初の北海道への三つの台風の上陸と迷走する台風10号により、日高管内のみならず全国的に大きな爪痕を残しました。改めて被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

昨年の品目別の作柄を振り返り

ますと、水稻は、移植の遅れたほ場では6月上旬の低温により活着や茎数増加に遅れが見られ、穂数はやや少なめとなりました。7月下旬には、低温と日照不足となりましたが、着粉数の減少や不稔粉の増加は見られません。面積当たりの着粉数確保は平年よりやや少ない傾向となりましたが、8月～9月の気温が高く推移し、登熟が良く、作況指数は101の平年並となりました。

牧草は、降雨により一番草収穫中盤で作業の遅れが大きく、二番草収穫も収穫始めは平年より早かったものの台風の影響もあり、中盤での作業停滞が見られました。収量は、一番草の草丈の伸びが順調で平年をやや上回るものとなっています。

飼料用とうもろこしは、は種始めが平年よりやや遅く、生育も平年より遅れて推移しました。草丈は平年より低く、雌穂の黄熟も遅れ、収量は平年より低めとなりました。

野菜におきましては、主力品目のミニトマトは、加温促成作型は生育は概ね順調だったものの、小玉傾向となりました。抑制作型では、7月下旬の低温・日照不足で着果不良が見られ、8月下旬の台風により、一部で施設内の冠水も発生し、出荷量は前年より少なめに推移しました。単価は高めに推移したものの、販売額は前年を下回ることとなりました。

ほうれんそうなどの葉菜類は、期間を通して順調な生育となり、収量・品質とも平年並となりました。

黒毛和牛の素牛出荷頭数は、前年並と減少傾向に歯止めがかかりました。南北海道市場での取引では、一頭単価は前年より25%上昇し、販売総額も前年を25%上回る結果となりました。

軽種馬においては、厳しい状況は続くものの、市場での売却頭数、売却率、販売価格とも引き続き前年を上回る結果となりました。

また、ホッカイドウ競馬におきましても、発売金額が18年ぶりに200億円突破を記録しました。当普及センターにおきましては、昨年4月に、より専門性を高めた支援活動と継続した活動体制の維持を図るため、機構改革が行

われましたが、今まで以上に「農家の傍に立つ普及」を展開する所存でございます。

今後とも、ミニトマトを中心とした野菜生産振興と黒毛和牛経営の生産基盤強化に向けた取組を支援し、新規就農者の受け皿としての機能を備えた産地として充実を図るため、生産者・関係機関の皆様と協同しながら取り組んで参ります。

併せて、軽種馬においては、「強い馬づくり」に繋がる「強い草づくり」への支援を展開して参ります。

また、生産者と消費者が安全・安心な農畜産物で繋がるべく、クリーン農業の実践・GAP認証への支援や生産者の所得確保に向け、地域資源を活用した6次産業化推進に向けて活動して参ります。

今後とも、人が残る・残れる地域を目指し、農業がその中心的役割を担えるよう、地域振興に寄与して参りたいと思います。

生産者の皆様におかれましては、今年も更なる発展の年となりますことをご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年に向けて

J Aしずない女性部部长

木田 正子



新年あけましておめでとうございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、新たな年をご家族お揃いで、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の北海道は、異常気象と言える台風や大雨により、道内各地に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方たちの一日も早い復旧を願ひ、食料生産に努めて参りたいと思います。

昨年の女性部活動での最も大きな取組としては、「家の光クッキング・フェスタ」の開催がありました。「地場産農畜産物のPR」と「食育」をテーマに子どもたちをはじめ多くの皆様にご参加頂きました。

その開催にあたっては、J Aをはじめ新ひだか町、静内農業高校、新ひだか町商工会女性部からご協力を頂き、誠にありがとうございました。

また、主催者の家の光協会、講師の料理研究家きじまりゆうた先生からは、クッキング・フェスタの意義が尊重された素晴らしいイベントとなり、部員の人柄、調理の手際の良さなど高い評価を頂きました。

しずない農業まつりでは、風が強く、時折雨が降るあいにくの天気となりましたが、前年とほぼ同様の売上を確保することができ、部員の腕前と協力のおかげと感謝しています。

厳しい環境の中ではありますが、農業に携わっているから味わえる幸福を前向きに捉え、今後も女性部活動を進めて参りたいと考えております。

本年も組合員、各関係機関の皆様や女性部員のご協力、ご支援をお願いし、実り多き一年となることをご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

J Aしずない青年部部长

落合 信幸



新年あけましておめでとうございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から青年部活動に対しましては、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年においては、大雨、台風による河川の氾濫、農地への土砂流入、滞水被害、農業用施設の損壊など様々な農業被害が発生し、営農活動においては、大変厳しい一年となりました。

また、経済や政治の面においては、「TPP」「農協改革」と現段階で先行きが不透明な状況となっており、農業を取り巻く環境は

依然として厳しいものとなっております。

そのように先行きが不透明な状況だからこそ、私たち青年部員一人一人が事業や研修を通して視野を広げ、色々な分野の方たちから得た知識を糧として、知恵を出しあい、このような時代を乗り越えていけるよう取り組んで参ります。

昨年の青年部の活動と致しましては、しずない農業まつりへの出店、ハロウインの開催、小学校への食育出前授業などの取組を行いました。

特に小学生を対象に行った食育出前授業では、消費者と生産者との繋がりを築くための大切な一歩として、「食」の大切さを伝えていきたいと考えております。

本年も組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

Aコープよりお知らせ JCBギフトカード取り扱いのお知らせ

Aコープしずない店では、平成28年12月より「JCBギフトカード」の取り扱いを開始しました。

日本全国のJCBカード取扱店で幅広く利用でき、お中元やお歳暮、また、日頃の感謝を込めたお礼の品としてもご活用頂ける商品券となっております。

なお、「農協全国商品券」、「おこめギフト券」も引き続き取り扱いをしておりますので、こちらにつきましてもご入用の際には、宜しくお願いします。

※「JCBギフトカード」につきましては、「1,000円券」のみの取り扱いとなっております。



問い合わせ先

Aコープしずない店 TEL 0146-46-2885

「あぐり王国北海道NEXT」で静内の素牛生産が特集されます!

HBC北海道放送で、毎週土曜日午後5時から全道各地の農業を特集している「あぐり王国北海道NEXT」で、静内の素牛生産が取り上げられました。

新ひだか町静内和牛生産改良組合の組合長を務める渡辺隆さんの農場を中心に撮影が行われ、北海道を代表する演劇ユニット「TEAM NACS」のリーダー森崎博之さん、HBCアナウンサーの金井憧れさん、そして、あぐりっこたちとの和気あいあいとした雰囲気の中、静内産素牛の魅力がレポートされました。

放送日時については、以下の通りとなっておりますので、皆様是非ご覧下さい。



「あぐり王国北海道NEXT」放送日時

HBC北海道放送

平成29年 **1月21日(土)** 午後5時～午後5時30分

※重大なニュースが入った場合には、変更になる場合があります。



年末・年始業務日程

区 分	12月		1月						
	30日(金)	31日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	
下記以外の業 務	平常営業 8:30~17:00		休 業					平常営業 8:30~17:00	
金 融 店 舗	平常営業 8:30~16:00							平常営業 8:30~16:00	
※ATM 本 所	ATM 8:30~18:00	ATM 9:00~12:00						ATM 8:30~18:00	
※ATM 役 場	ATM 9:00~17:30							ATM 9:00~17:30	
※ATM 豊 畑	ATM 8:30~18:00	ATM 9:00~12:00						ATM 8:30~18:00	
※ATM 東静内	ATM 8:30~18:00	ATM 9:00~12:00						ATM 8:30~17:30	ATM 8:30~18:00
A コ ー プ し ず ない 店	平常営業 8:30~18:00	営 業 8:30~12:00						平常営業 8:30~18:00	
本 所 給 油 所	平常営業 7:30~19:00	営 業 7:30~12:00						営 業 8:30~17:30	営 業 7:30~18:00 平常営業1月7日~ 7:30~19:00
事 業 所 給 油 所	平常営業 8:30~18:00	営 業 8:30~12:00						営 業 8:30~17:30	平常営業 8:30~18:00
日高中部農協 機械センター	休 業 (12月30日~1月9日) 自動車の事故処理(レッカー搬送)は、24時間受付しております。 TEL 0146-42-7051								

休日の車の事故受付は JA共済事故受付センター TEL 0120-258-931 までご連絡をお願いします。

平成29年 地区別懇談会日程表

平成29年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。

組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

月 日	時 間	農 事 組 合 名	会 場
1月25日 (水)	午前10時~ 午後0時30分	静内一・駒 場・中野一・中野二・神 森 昭 和・真 歌・有勢内・目 名・田 原 田原高台・桔 梗・親 和	目名生活 改善センター
	午後5時30分~ 午後8時	御 園・農 屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三 上豊畑・豊畑振興	豊畑生活館
1月26日 (木)	午後1時30分~ 午後4時	春 立・東別一・東別二・東別三	東別生活 センター
	午後5時30分~ 午後8時	浦 和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一 川合二・川合三・西川一・西川二・西川三	川合生活館

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。